

# 音楽会 ごあいさつ

11月7日

本日は、和泉小学校の音楽会をご鑑賞いただき誠にありがとうございました。

どの学年、学級も、音楽会のスローガン「みんな笑顔で全力で 音楽でつなげる和泉の輪」のもと、子どもたち一人一人がそれぞれのめあてに向かって学び合っていました。昨日も今日も、その成果を存分に発揮できたと思います。

和泉小の子どもたちは、このコロナ禍のような状況であるからこそできる、これまでの音楽会とは違う新しい音楽会をつくりあげました。そのよさを、3点お話しいたします。

第1に、このコロナ禍での音楽会は以下のような制約がありました、工夫して行うことができました。

- ①合唱については、飛沫が飛ぶため行いませんでした。
- ②リコーダーなど息を吹いて音を出す楽器での演奏も、飛沫が飛ぶため行いませんでした。
- ③今まで行ってきた学年での発表は、密を避けるため、学級単位での発表といたしました。
- ④鑑賞も、密を避けるためオンラインでの鑑賞にいたしました。
- ⑤会場内の密を避けるため、お家の方の鑑賞は一家庭2名までといたしました。

新しい音楽会の形は、とまどいもありましたが、音楽の楽しさは今までと同じように伝わったのではないのでしょうか。

第2に、学級で演奏したことによって、一人一人の存在が際立っていたということです。

子どもたち一人一人が表現する音は違っていても、その役割をしっかりと果たすことで、音楽全体のハーモニーをみんなでつくりあげることができました。このように、一人一人の音が大切な存在なのです。

今年度は学級単位での演奏であったため、より一層そのことが強く感じられました。

これは、学級や学年での生活でもそうです。

子どもたち一人一人は違いますが、その一人一人がクラス全体をつくっている大切な存在なのです。

音楽は、そのことを改めて教えてくれたのだと思います。

第3に、学年ごとに様々な音楽がちりばめられていたということです。

音楽といっても、世の中には合唱や合奏だけではなく、様々な音楽があります。

ある学年では、自分の体を楽器にして表現するボディーパーカッション、生活の中にあるカップを使って音楽をつくるカップス、手作り楽器でつくった音楽などなど、子どもたちは様々な音楽を表現していました。

このコロナ禍における新しい音楽会を行うことで、子どもたち一人一人に何か新しい発見など変化があったとしたら、この音楽会は大成功だと思います。

この音楽会を通して、きっと子どもたち一人一人に変化が起こったことと思います。そんなお話をお子さんから聞いていただくとともに、「がんばったね」「感動したよ」などの温かく元気のでる言葉をかけてあげていただければと思います。

本日はご多用の中、音楽会をご鑑賞いただき、誠にありがとうございました。

千代田区立和泉小学校

校長 村田悦子